

「家族でやま学の日」について

山口県では、未来につながる家庭での体験的な学び・探究的な学びを応援するために、「家族でやま学の日」を導入します。

「やま学」とは、「やまぐち型地域体験・探究学習」の略称です。「やまぐちで学ぶ」「やまぐちを学ぶ」をモットーに、平日だからこそできる学校外での学習活動をお子さんと一緒に計画してみませんか。

「家族でやま学の日」とは…

- 休暇を家族で一緒に過ごせる仕組みづくりのための新しい学び方・休み方です。
- 山口県内の公立学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）に通う子どもたちが、休業日以外に家族とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を考え、企画し、実行することができる日が、「家族でやま学の日」です。
- 保護者の休暇に合わせて、事前に申請手続きを行うことで、活用できます。
- 校外での自主学習活動であるため、登校しなくても欠席とはならず、「出席停止等」と同じ扱いになります。

◆ 活用までの流れ ◆

① 計画を立てよう

- 何のために、何を学ぶか、どこへ行くか等、家族で一緒に計画を考えましょう。
- 計画をもとに、申請の準備をしましょう。

② 申請手続きをしよう

- 出かける前に、保護者が申請手続きをします。（お住まいの市町によって異なります。）
- 校長先生からの承認を受ければ、手続きは完了です。

③ 「家族でやま学の日」を満喫しよう

- 体験的・探究的な学び・活動を楽しみましょう。

④ 振り返ろう

- おうちに帰ったら、活動の振り返りを行い、今後の学校生活や日常生活にどのように生かしていくか、話をしましょう。



◆ 留意点 ◆

- 「家族でやま学の日」は、事前に申請手続きを行う必要があります。
- お住まいの市町によって、「家族でやま学の日」を活用できる日数や活用できない日が異なります。詳しいことは、学校へお問い合わせください。
- 「家族でやま学の日」を活用したことで受けられなかった授業内容は、原則、家庭で補うこととなります。

★「家族でやま学の日」の活動のポイント★

- 「家族で一緒に過ごす時間」が大切です。
- 「何のために、何を学ぶか」を事前に子どもと一緒に話し合ってみてください。
- 遠くへ行かなくても、身近な地域にも「学びの種」はあふれています。

【学びのキーワード】

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア教育…等

◆地域の史跡めぐり◆



地域ガイドと一緒に史跡をめぐり、地元の歴史について学び、新聞やスライドにまとめてみよう

◆身近な植物調査◆



家の周りの植物について図鑑やインターネットを使って調べ、分布や季節による違いを整理してみよう

◆いろいろな表現で◆



家族で使う食器など、自由な発想で形作り、実際に使った感想を交流しよう

◆家族で農業体験◆



収穫した野菜などを使ったオリジナル献立を考え、調理を計画して、家族にふるまってみよう

◆自然を感じる◆



山や川、海などの自然に触れ、そこでしかできない体験をしてみたり、写真などの記録におさめたりしてみよう

◆新たなスポーツへの挑戦◆



普段学校では経験できないニュースポーツに、家族みんなで挑戦したり、独自のルールを考案したりしてみよう

「家族でやま学の日」Q&A

Q1 「家族でやま学の日」を連続して活用することはできますか？
また、残った日は、次年度に繰り越すことはできますか？

「家族でやま学の日」を連続して活用することはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q2 急遽休みが取れることになった場合、前日に「家族でやま学の日」を届け出ることはできますか？

申請手続きの期限については、管轄の教育委員会によって異なりますので、学校またはお住まいの市町教育委員会にお問い合わせください。しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの申請をお願いします。

Q3 「家族でやま学の日」に、旅行に出かけてもよいのですか？

やま学（やまぐち型地域体験・探究学習）ですので、「体験」「探究」の学びの要素が必要です。「楽しかった」だけの取組にならないよう家族でよく話し合い、「何を学ぶため、どこで、どのような体験や探究に取り組むのか」など、計画を立てて実行に移すことが重要です。

・・・・・・・・【お問い合わせ先】・・・・・・・・

■制度全般に関すること
山口県教育委員会 義務教育課 ☎083-933-4600

■申請手続き等に関すること
お住まいの市町教育委員会 学校教育課まで

■県立学校については高校教育課へお問い合わせください

【県 HP の QR コード】

